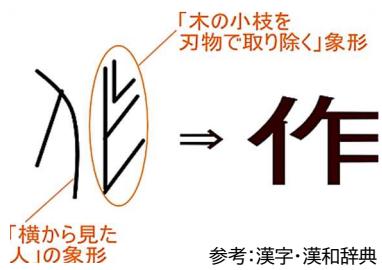


「創世記」に登場する「造」と「作」の違いは？

▶創世記にある 36 の「造」

- 創世記 2:7 神の息、命 つち（土） 01:01 初めに、神は天地を創造（→ヘブライ語「バーラー」）された。
しんよう（之様） 01:07 神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた。
→動きを表す そのようになつた。
©H.taniguchi 01:16 神は二つの大きな光る物と星を造り、大きな方に昼を治めさせ、小さな方に夜を治めさせられた。
01:21 神は水に群がるもの、すなわち大きな怪物、うごめく生き物をそれぞれに、また、翼ある鳥をそれぞれに創造された。神はこれを見て、良しとされた。
01:25 神はそれぞれの地の獣、それぞれの家畜、それぞれの土を這うものを造られた。神はこれを見て、良しとされた。
01:26 神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。」
01:27 神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。
01:31 神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。
02:03 この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なさつたので、第七の日を神は祝福し、聖別された。
02:04 これが天地創造の由来である。主なる神が地と天を造られたとき、
02:18 主なる神は言われた。「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。」
02:22 そして、人から抜き取ったあばら骨で女を造り上げられた。主なる神が彼女を人のところへ連れて来られると、
03:01 主なる神が造られた野の生き物のうちで、最も賢いのは蛇であった。蛇は女に言った。「園のどの木からも食べていいけない、などと神は言われたのか。」
05:01 これはアダムの系図の書である。神は人を創造された日、神に似せてこれを造られ、
05:02 男と女に創造された。創造の日に、彼らを祝福されて、人と名付けられた。
06:06 地上に人を造ったことを後悔し、心を痛められた。
06:07 主は言われた。「わたしは人を創造したが、これを地上からぬぐい去ろう。人だけでなく、家畜も這うものも空の鳥も。わたしはこれらを造ったことを後悔する。」
06:14 あなたはゴフェルの木の箱舟を造りなさい。箱舟には小部屋を幾つも造り、内側にも外側にもタルを塗りなさい。
06:15 次のようにしてそれを造りなさい。箱舟の長さを三百アンマ、幅を五十アンマ、高さを三十アンマにし、
06:16 箱舟に明かり取りを造り、上から一アンマにして、それを仕上げなさい。箱舟の側面には戸口を造りなさい。また、一階と二階と三階を造りなさい。
07:04 七日の後、わたしは四十日四十夜地上に雨を降らせ、わたしが造ったすべての生き物を地の面からぬぐい去ることにした。」
08:06 四十日たって、ノアは自分が造った箱舟の窓を開き、
09:06 人の血を流す者は／人によって自分の血を流される。人は神にかたどって造られたからだ。
14:19 彼はアブラムを祝福して言った。「天地の造り主、いと高き神に／アブラムは祝福されますように。
14:22 アブラムはソドムの王に言った。「わたしは、天地の造り主、いと高き神、主に手を上げて誓います。」
35:01 神はヤコブに言われた。「さあ、ベテルに上り、そこに住みなさい。そしてその地に、あなたが兄弟サウを避けて逃げて行ったとき、あなたに現れた神のための祭壇を造りなさい。」
35:03 さあ、これからベテルに上ろう。わたしはその地に、苦難の時わたしに答え、旅の間わたしと共にいてくださった神のために祭壇を造る。」

►創世記にある 20 の「作」



参考:漢字・漢和辞典

- 3:21 主なる神は、アダムと女に皮の衣を作って着せられた。
- 4:12 土を耕しても、土はもはやお前のため作物を産み出すことはない。お前は地上をさまよい、さすらう者となる。」
- 4:22 ツイラもまた、トバル・カインを産んだ。彼は青銅や鉄でさまざまの道具を作る者となった。トバル・カインの妹はナアマといった。
- 9:20 さて、ノアは農夫となり、ぶどう畑を作った。
- 11:3 彼らは、「れんがを作り、それをよく焼こう」と話し合った。石の代わりにれんがを、しつくいの代わりにアスファルトを用いた。
- 27:4 わたしの好きなおいしい料理を作り、ここへ持つて来てほしい。死ぬ前にそれを食べて、わたし自身の祝福をお前に与えたい。」
- 27:7 『獲物を取つて来て、あのおいしい料理を作つてほしい。わたしは死ぬ前にそれを食べて、主の御前でお前を祝福したい』と。
- 27:9 家畜の群れのところへ行って、よく肥えた子山羊を二匹取つて来なさい。わたしが、それでお父さんの好きなおいしい料理を作りますから、
- 27:14 ヤコブは取りに行き、母のところに持つて來たので、母は父の好きなおいしい料理を作つた。
- 27:17 自分が作ったおいしい料理とパンを息子ヤコブに渡した。
- 27:31 彼もおいしい料理を作り、父のところへ持つて來て言った。「わたしのお父さん。起きて、息子の獲物を食べてください。そして、あなた自身の祝福をわたしに与えてください。」
- 30:37 ヤコブは、ポプラとアーモンドとプラタナスの木の若枝を取つて来て、皮をはぎ、枝に白い木肌の縞を作り、
- 33:17 ヤコブはスコトへ行き、自分の家を建て、家畜の小屋を作つた。そこで、その場所の名はスコト(小屋)と呼ばれている。
- 37:3 イスラエルは、ヨセフが年寄り子であったので、どの息子よりもかわいがり、彼には裾の長い晴れ着を作つてやつた。
- 41:29 今から七年間、エジプトの国全体に大豊作が訪れます。
- 41:30 しかし、その後に七年間、飢饉が続き、エジプトの国に豊作があつたことなど、すっかり忘れられてしまうでしょう。飢饉が国を滅ぼしてしまうのです。
- 41:31 この国に豊作があつたことは、その後に続く飢饉のために全く忘れられてしまうでしょう。飢饉はそれほどひどいのです。
- 41:34 また、國中に監督官をお立てになり、豊作の七年の間、エジプトの國の產物の五分の一を徵収なさいますように。
- 41:47 豊作の七年の間、大地は豊かな実りに満ち溢れた。
- 41:53 エジプトの國に七年間の大豊作が終わると、